

VI 生涯学習課

1 庶務係

蟹江町社会教育委員名簿

職 名	氏 名
委 員 長	飯 田 雅 広
副 委 員 長	飯 田 數 義
委 員	飯 尾 一 利
委 員	藤 下 真 人
委 員	小 川 俊 二
委 員	高 橋 央 樹
委 員	岸 幸 雄
委 員	加 藤 俊 男
委 員	山 田 久 子
委 員	服 部 幸 夫

(敬称略)

(1) 社会教育委員の活動状況

① 社会教育委員会議の開催状況

社会教育委員会議の構成

- ・ 会議の種類 定例会（年2回開催6月・11月）
- ・ 構 成 員 社会教育委員、教育長、教育部次長、
生涯学習課長、図書館長、生涯学習課長補佐、
主事

② 会議の運営状況

令和4年度における蟹江町社会教育委員の定例会の主な活動状況は次のとおりである。

開 催 日	議 案 ・ 報 告 事 項 等
令和4年6月9日 (定例会)	【協議事項】 1 令和3年度事業報告 ① 生涯学習課事業報告 ② 蟹江町図書館事業報告 2 令和4年度事業計画 ① 生涯学習課事業計画 ② 蟹江町図書館事業計画
開 催 日	議 案 ・ 報 告 事 項 等
令和4年11月16日 (定例会)	【協議事項】 1 令和4年度事業中間報告（令和4年4月～9月） ① 生涯学習課事業

	② 図書館事業 2 令和5年度事業計画(案) ① 生涯学習課事業計画(案) ② 図書館事業計画(案)
--	---

2 生涯学習係

(1) 生涯学習事業

講座・各種教室の開催（令和4年度実績）

① 生涯学習講座

講座・教室名	中央公民館・中央公民館分館		
	開催数	募集人員	参加数
若者の学び・体験・交流事業	1回	-	61人
お父さんたちの料理教室	3回	① 6人	① 4人
		② 12人	② 8人
		③ 18人	③ 10人
ハーバリウム作り教室	1回	15人	8人

② 自主グループの活動支援

生涯学習講座の修了者が、結成した自主グループに対し、施設利用料の一部を一定期間減額することで、団体活動を支援し、公民館活動を促進する。

〔点検・評価〕

蟹江中央公民館・分館では、生涯学習・文化活動の拠点として、学習や交流の場を提供するため、各種講座を実施している。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の対策をとりながら講座を実施することができた。今後も、状況を把握しながら、町民のニーズに応えられるよう努めたい。

(2) 家庭教育事業

① 家庭教育講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
親と子の体験教室	1回	18組36人	8組16人	蟹江中央公民館
親子キャンプ教室	1回	13家族	12家族36人	つぐ高原グリーンパーク

〔点検・評価〕

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の対策を取りながら、事業を開催することができた。今後も、新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底はもちろんのこと、より安心安全な事業実施を目指していく。

(3) 青少年健全育成事業

① 青少年講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
子ども体験教室(工作)	2回	各20人	1部：14人 2部：7人	蟹江中央公民館
木工体験教室	2回	各10人	1部：10人 2部：10人	蟹江中央公民館

② はたちの集い

「はたち」を迎える方が、明るい未来の担い手としての自覚を持ち、社会人としての責任ある行動を取ることを願い、地域社会全体で祝い励ます。

開催日：令和5年1月8日(日) 対象者：323人 参加者：276人

③ 蟹江町中学生沖縄県読谷村交流事業

町在住の中学生を沖縄県読谷村へ派遣し、地元中学生との交流や民泊をとおり、伝統・文化を学ぶ。

実施日：令和4年8月22日(月)～24日(水)

募集人員：12人

④ 青少年健全育成運動

開催日：令和4年7月19日(火)、令和4年11月25日(金)

青少年の非行防止のため、研修会(講演)や街頭指導を年2回実施している。

〔点検・評価〕

木工体験教室では、募集人数の倍以上の応募があったため、午後に2回実施をしてなるべく多くの方に参加してもらえよう対応した。これからも子どもたちの達成感や探究心を育てていける内容及び教室づくりに努めていく必要がある。

はたちの集いは、町外へ転出している方も、手続きを経て当町で出席できるため、出席率もよい。また、女性からは午後の開催ということが、着付けに早朝から行かなくてもよいことが好評である。

蟹江町中学生沖縄県読谷村交流事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響の対策を取って、事業を実施することができた。今後、実施の際には読谷村の中学生と蟹江町の中学生が地域伝統文化を相互に披露し交流をさらに深めたい。さらに民泊の方との交流や、旧海軍指令部壕及び国際通り等を見学し沖縄県の歴史、文化を肌で感じる内容としたい。

(4) 生涯学習関係団体育成

① 蟹江町文化協会

文化協会の円滑な運営及び芸術文化活動の充実に資するため、補助金を交付し支援する。

9 部門 42 団体 459 人 補助金 1,060,650 円

② 蟹江町婦人会

婦人（女性）の地位向上や心豊かな地域社会の発展に寄与することを目的に、婦人会に対し補助金を交付し支援する。

9 支部 16,848 世帯 補助金 1,292,400 円

③ 蟹江町小中学校 P T A 交付金

学校と連携を密に、教育の充実と地域社会の発展・振興に寄与する P T A 活動に対し、交付金を交付し支援する。

7 小中学校 2,685 人 交付金 1,307,260 円

〔点検・評価〕

町民が健全で豊かな生活を営むために、社会教育関係団体に対して補助金（交付金）を交付することにより、町民の健康と地域文化の向上並びに町民相互の親睦を図ることができる。

(5) 生涯学習まちづくりの推進

① 生涯学習まちづくり推進町民大会の開催

青少年健全育成・家庭教育推進・生涯学習の推進を促す町民大会として開催した。

- ・ 開催日 令和 4 年 7 月 3 日（日）
- ・ 開催場所 蟹江中央公民館 集会室

○生涯学習文化交流会

蟹江町 須成鼓笛保存会 須成祭囃子・神子太鼓
沖縄県読谷村座喜味地区 棒術・エイサー

② 文化祭の開催

町内における文化振興を図り、各種文化団体（または個人）の親睦と連携を深め、併せて生涯学習まちづくりを推進する。

- ・ 開催日 令和 4 年 11 月 5 日（土）・6 日（日）
展示の部 25 団体
芸能の部 16 団体
- ・ 開催場所 蟹江中央公民館・蟹江町体育館

〔点検・評価〕

生涯学習まちづくり推進町民大会は、第 2 部を「生涯学習文化交流会」として、沖縄県読谷村の座喜味棒保存会を招待し、座喜味棒術とエイサーを披露していた。

課題としては、若い世代の参加が少ないため、その世代のニーズを把握しながら、どのような内容で実施していくかを考える必要がある。

文化祭は、新型コロナウイルス感染症の対策を取りつつ、展示部門、芸能部門

を開催できた。出品者や出演者からは、丹精込めた作品や日頃の練習の成果を披露することができて良かったとの意見が多かった。

3 歴史民俗係

(1) 歴史民俗資料館利用状況

開館日数及び入館者数(内講座利用者)

開館日数 306日

入館者数 5,244人(545人)

1日当たり 17人

〔点検・評価〕

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置として、手指消毒や来館者カードの記入のお願いや団体見学の人数制限等を行ったが、休館の措置をとる事態はなかったため、入館者数も前年度より大幅に増加した。1日あたりの人数も増えており、人々の行動もコロナ前に戻りつつあると感じた。資料館に足を運んでいただく方に満足していただけるような展示や講座等を提供できるようにしたい。

(2) 収集・保管

① 収蔵資料点数 4,948点

② 郷土文化資料購入

館蔵資料の充実のため、郷土の文化人や町の歴史に関する資料などを購入した。

小酒井不木 掛軸 2点

宇佐美江中 掛軸 2点

佐藤高越 掛軸 2点

飯田棲山 掛軸 2点

黒川巳喜 額装 1点

山田玉田 額装 1点

③ 資料の寄贈・寄託

町内外の方から永田家文書等39点の寄贈を受けた。

〔点検・評価〕

令和4年度においては、購入資料10点、寄贈資料39点、合計49点の資料を収蔵した。

購入資料については町ゆかりの文化人の作品を購入、寄贈資料については、鍋蓋新田の開発に関わったという永田家の文書や、小酒井不木の直筆のノートなど、蟹江町の歴史や文化を語るうえで貴重な資料をいただいた。大切に保管するとともに、特別展や企画展で活用していきたい。

一方で、資料の数は年々増加しており、収容不足となりつつある。この現状をいかに解消するのが課題となっている。また収蔵資料は保管するだけでなく整理した情報をデータ化し、調査・研究のために活用しやすい状態にしておくことが大切である。資料保存のための周辺設備とともに、管理体制も充実させる必要がある。

(3) 展示

① 常設展示の充実

年間を通じてテーマを設定し、郷土の歴史、民俗にかかる資料の展示を行った。

② 企画・特別展示

町の歴史・民俗に関連する特別展・企画展を実施した。

ア 特別展

- ・「来て！見て！！かに カニ 2022」

展示期間 令和4年7月22日（金）～8月31日（水）

開催場所 企画展示室

来館者数 574人

- ・「国絵図からみる蟹江町～「永田家文書」より～」

展示期間 令和4年11月3日（木）～12月25日（日）

開催場所 企画展示室

来館者数 656人

イ 企画展（開催場所：企画展示室）

- ・「天高く～鯉のぼりと座敷のぼり～」

展示期間 令和4年4月23日（土）～5月29日（日）

開催場所 企画展示室

来館者数 110人

- ・「昭和のこども写真展」

展示期間 令和4年4月29日（金）～5月29日（日）

開催場所 産業文化会館ロビー

- ・「エコきつず調査隊成果発表展」

展示期間 令和4年8月27日（土）～9月4日（日）

開催場所 産業文化会館ロビー

- ・「写真と新聞でふりかえる伊勢湾台風」

展示期間 令和4年9月20日（火）～10月2日（日）

開催場所 産業文化会館ロビー

- ・「昭和の段飾り雛」

展示期間 令和5年2月7日（火）～3月5日（日）

開催場所 企画展示室

来館者数 309人

〔点検・評価〕

展示活動は、収集した資料などを調査研究したうえで公開するもので、資料から一目で学習情報を読み取り理解できるという学習効果が望める資料館の重要な事業の一つである。

令和4年度においては、3年ぶりに特別展を実施することができ、蟹江の地名や、土地の成り立ちについて、展示を通して情報発信をした。また、企画展については、子どもの日や台風シーズン、ひなまつりなど、時節に合わせた展示ができた。今後も状況に応じて効果的な企画を実施していきたい。

(4) 調査・研究

① 資料館関連資料についての調査・研究

展示内容の充実を図るために、関連資料等の調査・研究を行った。

② その他調査

令和4年度においては、文化財保存活用地域計画作成事業に伴い、令和3年度に引き続き関係資料の調査を行ったほか、古民家調査を実施した。

〔点検・評価〕

資料を展示し、教育普及・情報提供活動に供するうえで、調査・研究活動は資料館運営の根幹事業である。これからも調査・研究事業を円滑に進めていくためには関係各位の理解と協力が不可欠であり、地域との連携が重要になると思われる。

(5) 情報提供

① 各種印刷物の発行

「歴史民俗資料館年報第43冊」発刊

② おうちミュージアムの開設

おうちミュージアムは、令和2年3月に全国の学校等が休校になったことから、子どもたちが家でも楽しく学べるようにと、北海道博物館が取り組み始めたもので、主旨に賛同した博物館や資料館がホームページ上で学習に役立つクイズやパズルなどを公開している。蟹江町歴史民俗資料館では令和2年5月から開設し、年6回程度のペースで更新してきた。令和4年度に実施した内容は次の通り。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ・「源義朝と源氏島」 | 令和4年 6月11日（土）更新 |
| ・「木曾義仲と龍照院」 | 令和4年 7月20日（水）更新 |
| ・「巴御前と大日如来」 | 令和4年 9月14日（水）更新 |
| ・「新田開発と蟹江町」 | 令和4年12月23日（金）更新 |
| ・「昔の道具を学ぼう！その3」 | 令和5年 2月 3日（金）更新 |

・「ひなまつりについて」 令和5年 2月10日（金）更新

③ 関連機関発行の印刷物等への情報提供

新聞社、出版社、放送局などの機関に対し、町の歴史や民俗に関する情報提供を、依頼に応じて随時行った。

〔点検・評価〕

歴史民俗資料館年報第43冊については、県内の各市町村教育委員会及び博物館等の関係機関に寄贈したほか、既刊の印刷物とともに窓口で有料配布を行っている。おうちミュージアムは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、見学に出かけられない時も家で学べるようにと取組み始めたものであるが、いつでも蟹江の歴史文化を調べることができると、大人にも評価の声をいただいている。今後はさらに内容を充実させるとともに、資料のデジタルデータ化や情報発信も加速させていきたい。

(6) 教育普及

① 主催講座

講座・教室名	産業文化会館（中央公民館分館）ほか		
	開催数	募集人員	参加数
古文書を読む会	8回	30人	28人
「かにえ地域学」講座	6回	30人	21人
環境学習 エコきつず調査隊	4回	20人	20人
須成祭マイスター養成講座	5回	各15人	延べ47人
郷土体験学習会	3回(4)	各25人	延べ37人
文化財研修会（文化財保存活用地域計画シナリオと同時開催）	1回	200人	142人

※開催数の（ ）内は当初予定していた回数。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部中止や縮小した講座あった。

② 出前講座

町民に呼びかけ希望を募り、資料館学芸員が地域に出向いて蟹江町の歴史や文化についての解説をした。

日程	団体名等	内容	人数
令和4年5月22日(日)	あまの神社仏閣へ行こう！プロジェクト	蟹江城と蟹江合戦	40人
令和4年5月27日(金)	ささえあいつどい海門	地図と写真でみるまちのうつりかわり	15人
令和4年11月22日(火)	蟹江町商工会青年部	蟹江の歴史と文化	19人

③ 出前授業

小中学校に呼びかけ希望を募り、資料館学芸員が学校に出向いて蟹江町の歴史や文化についての解説をした。

日程	学校	内容
令和4年7月1日(金)	蟹江小学校	昔の暮らし 昔の道具
令和4年11月25日(金)	舟入小学校	須成祭について
令和5年1月17日(火)	舟入小学校	昔の暮らし 昔の道具
令和5年1月24日(火)	舟入小学校	蟹江のまちのうつりかわりについて

〔点検・評価〕

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一部中止や縮小になった講座もあったが、おおむね計画どおりに実施できた。出前講座も、高齢者や青年など様々な世代の方からの申し込みがあり、蟹江町の歴史文化に関心を寄せる方の層の厚さを感じた。今後も継続して関心を持ってもらえるように努力を続けていきたい。

4 文化財保護係

(1) 文化財保護審議会

① 文化財保護審議会の開催状況

文化財保護審議会の構成

- ・会議の種類 不定期（審議すべき事案がある時に開催）
- ・構成員 文化財保護審議会委員、教育長、教育部次長、生涯学習課長、主任学芸員、学芸員、主事

② 会議の運営状況

令和4年度における蟹江町文化財保護審議会の定例会の主な活動状況は次のとおりである。

開催日	議案・報告事項等
令和4年 7月15日(金)	【議題】 1 会長の選任について 2 令和4年度の文化財保護事業について 3 蟹江町文化財保存活用地域計画作成事業について
令和5年 2月17日(金)	【議題】 1 蟹江町文化財保存活用地域計画について 【報告】 1 蟹江町文化財保存活用地域計画シンポジウムについて

(2) 文化財保護等補助事業

町内文化財保護団体に対し、文化財保護に係る経費の補助を行い、歴史文化の形成を正しく理解する上での基礎資料である文化財を、保存・伝承し、活用を図るなど、人的・物的支援を実施した。

補助事業数：国指定無形民俗文化財伝承活動事業始め4事業

補助団体・件数：須成文化財保護委員会始め12団体・13件

町費補助額：2,061,000円

(3) 文化財資料出展公開事業

10月の町民まつりに併せて、各町内会に協力を依頼し、町内に存する神楽屋形や太鼓等をまつり会場にて出展公開する予定であったが、縮小開催により神楽屋形の公開は中止となった。

(4) 重要文化財公開事業

国指定重要文化財である龍照院の十一面観音立像の公開を1～2月を除く毎月18日に行ったほか、事前申し込みに応じて随時公開をした。

(5) 文化財普及・啓発事業

全国山・鉾・屋台保存連合会やあいち山車まつり日本一協議会に加盟し県内外の関係市町や関係機関と協力をしながら、関連の啓発活動を実施した。

(6) 文化財保存活用地域計画作成事業

平成31年4月に改正された文化財保護法に基づき、町内にある無指定を含めたさまざまな文化財を中・長期的な観点からどのように保存・活用していくのかを明確にする計画書を作成するための事業。令和2年度から取り組んでおり、令和4年度末完成、令和5年度に文化庁認定申請を行う計画で事業を推進した。令和4年度に実施した内容は以下のとおり。

① 令和3年度に実施した調査結果をふまえての追加調査および整理

文化財の補足調査を行い、より精度の高い文化財リストを作成した。

また、文化財調査の結果やアンケート、関連機関等へのヒアリングの結果を整理し、蟹江町の文化財の特徴や文化財の保存活用の方向性を導く資料とした。

② 蟹江町文化財保存活用地域計画作成協議会の開催

・文化財保護審議会の構成

会議の種類 不定期（令和4年度は年3回）

構成員 学識経験者、観光協会会長、商工会会長、文化財所有者、ガイドボランティア代表、観光交流センター管理者、愛知県県民文化局文化芸術課文化財室室長補佐、

教育長、教育部次長、政策推進室長、ふるさと振興課長、
生涯学習課長、主任学芸員、学芸員

・会議の運営状況

令和4年度における活動状況は次のとおりである。

開催日	議案・報告事項等
令和4年 7月15日(金)	【報告】 1 令和4年6月14日に実施された文化庁協議について 【議題】 1 令和4年度事業及び認定スケジュールについて 2 蟹江町文化財保存活用地域計画素案について
令和4年 11月29日(火)	【報告】 1 令和4年9月13日に実施された文化庁協議について 【議題】 1 蟹江町文化財保存活用地域計画について 2 シンポジウムの開催について
令和5年 3月23日(木)	【議題】 1 パブリックコメントについて 2 蟹江町文化財保存活用地域計画案について 【報告】 1 認定スケジュールについて

③ 蟹江町文化財保存活用地域計画作成作業

調査結果等を分析したことをふまえ、今後実施すべき文化財の保存活用
の取組を提案し、蟹江町文化財保存活用地域計画作成協議会にて協議を
し、地域計画を作成した。作成にあたっては、庁内の関係部署と調整を行
うとともに、文化庁ヒアリングでの意見を反映させながら進めた。

④ 情報発信

計画書の内容が固まってきたところで、取組みを周知させるためのシン
ポジウムを実施するとともにパブリックコメントを行った。なお、シンポ
ジウムの内容等は次のとおり。

・文化財保存活用地域計画シンポジウム

テーマ 「守ろう 活かそう 蟹江の歴史文化」

開催日 令和5年3月4日(土)

開催場所 蟹江中央公民館

参加者数 142人

〔点検・評価〕

文化財保護等補助事業では、祭りを再開した団体もあったが、縮小開催や中止した団体もあった。中止が長引くと、伝承への課題が大きくなってしまう場合もあるため、地域の人々の声に耳を傾けて対応していきたい。

文化財保存活用地域計画作成事業については、令和2年度より3か年かけて作成事業に取組み、4年度末に文化庁へ提出する計画案を完成させることができた。計画書は、完成させることなく、計画に沿って事業を展開して目標を達成させることが重要なので、しっかりと取組んでいかなければならない。

5 生涯スポーツ係

(1) スポーツ事業

各種スポーツ教室

活き生きかにえスポーツクラブと連携（事業委託）し、町民が日常生活の中にスポーツを取り入れ、楽しみながら体力向上と健康増進を図ることを目的として開催した。

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
うんどウ教室	1回	60人	40人	学戸小学校屋内運動場
デトックスヨガ	前期：6回 後期：6回	前期：20人 後期：20人	前期：14人 後期：24人	中央公民館分館
なわとび教室	1回 (2部制)	各回：50人	1部：20人 2部：49人	蟹江町体育館
親子でフラダンス	前期：6回 後期：6回	前期：20人 後期：20人	前期：7人 後期：8人	希望の丘広場
ストレッチ体操	1回	40人	30人	蟹江中央公民館

〔点検・評価〕

生涯スポーツ事業については、活き生きかにえスポーツクラブと連携して5事業を実施（委託）した。引き続き「町民の体力向上と健康増進」を目標として、相互に連携を図りながら事業展開していく。

(2) スポーツ推進委員・地区スポーツ協力員

町民の体力維持・向上を目指し、スポーツ推進委員・地区スポーツ協力員を教育委員会が委嘱する。

① スポーツ推進委員 任期 令和4年度・令和5年度 18人

② 地区スポーツ協力員 任期 令和3年度・令和4年度 42人

③ 各種研修会

・指導者研修会

スポーツまつりで実施する各種スポーツの習得に向け、スポーツ推進委員及び地区スポーツ協力員に対し研修会を開催した。

【種目】モルック・タスポニー・ラダーゲッター・玉入れ・ペタンク・綱引き

・スポーツ推進委員の研修会

令和4年8月27日(土)海部南部地区スポーツ推進委員研修会開催
(会場：蟹江町 種目：モルック)

〔点検・評価〕

スポーツ推進委員が、研修会へ積極的に参加することにより、資質向上を目指して取り組んでいく。

また、地域社会の活性化と住民の豊かな心と健康を図るため、生涯スポーツを推進していくことが重要であり、その中心的存在は、各地域で活動している、スポーツ推進委員や地区スポーツ協力員である。今後も相互が連携し研修会で学んだことを活かし、各地域での活動を広げていく必要がある。

(3) スポーツ団体の指導・育成

① 活き生きかにえスポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブとして平成22年3月14日に設立。

平成26年10月29日にNPO法人を取得。

・役員 理事 4人 監事 1人

・会員数 343人

・講座数 通常講座：12講座 特別講座：3講座
サポート講座：2講座

・交付金等 交付金 1,500,000円

② 蟹江町スポーツ協会

体育、スポーツの振興と普及を図り、町民の体力向上を資するとともに、健康で明るい社会の建設を目的とする協会の活動に対し支援する。

・16団体 1,104人 補助金 2,284,800円

③ 蟹江町スポーツ少年団

青少年がスポーツを通じて心身を鍛錬し、青少年の健全育成に資することを目的とした団体の活動に対し、指導・育成する。

・15単位団 団員535人 指導者124人 補助金803,350円

〔点検・評価〕

総合型地域スポーツクラブ「活き生きかにえスポーツクラブ」は平成22年に設

立され、令和4年度で13年目となる。会員数は少しずつではあるが、増加しており、順調に運営されている。

今後も、クラブ会員の増員を図ることや、各スポーツ団体や生涯学習課との連携を図りながら、事業展開の必要がある。

また、スポーツ協会・スポーツ少年団に関しては、事務庶務などを生涯学習課から移譲することが課題である。

(4) 各種協議会・大会の開催

① スポーツまつり

老若男女、誰もが気軽にできるスポーツを通して、家族間、友人間の親睦を図るとともに、個人の健康維持を目的で開催した。

また、eスポーツ体験コーナーも設置し、世代を超えた交流もできた。

- ・開催日 令和4年10月22日(土)
- ・開催場所 蟹江町体育館・学戸小学校屋内・屋外運動場
- ・参加者数 61名

② 第43回蟹江町駅伝大会

チームで走ることにより、相互親睦と協調性を高め、地域住民のスポーツの振興を図ることを目的として開催している。場所は、蟹江町希望の丘広場周辺で、小学生の部は「5人1組 約7km」を走り、小学生以外の部は「5人1組 約11km」を走る2部門で実施した。

- ・開催日 令和5年1月22日(日)
- ・開催場所 蟹江町希望の丘広場周辺
- ・参加チーム数 52チーム

③ みんなで歩こう会(年1回開催)

みんなで歩くことにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親睦を深める。また、ウォーキングの習慣を身に付けることで健康増進を図ることを目的として開催した。

- ・開催日 令和4年11月26日(土)
- ・開催場所 静岡県森町
- ・募集人数 40人
- ・参加人数 38人

④ 愛知万博メモリアル第15回愛知縣市町村対抗駅伝競走大会

2005年「愛知万博」を次世代へ語り継ぐと同時に、愛知県内の市町村の交流、市町村合併後の一体化促進、県民意識の高揚、県民スポーツの振興を目的として開催され、参加した。

- ・開催日 令和5年1月14日(土)
- ・開催場所 愛・地球博記念公園
- ・結 果 町村の部 第3位

〔点検・評価〕

新型コロナウイルス感染対策をとりながら、各事業を開催した。昨年度までは多くの事業が中止になったことから、再開については参加者も喜んでいた。

スポーツまつりについては、例年より参加者が少なかったため、その要因等を分析し、その解消に向けてスポーツ推進委員や生き生きかにえスポーツクラブと協議して進めていく。

(5) その他

① スポーツ表彰

蟹江町在住・在勤の者が、全国規模のスポーツ大会に蟹江町及び愛知県の代表選手として出場した場合、栄誉を称えるため蟹江町功労者表彰により表彰した。 表彰者 3人

② 全国大会等出場選手奨励金支給

アマチュアスポーツ競技の全国大会などに選手として出場する個人または団体の小・中学生に対し、奨励金を支給する。 該当者 8人

③ スポーツカレンダーの発行

町及び町スポーツ協会などの実施する、年間スポーツ行事を掲載したカレンダーを全戸配付することで、町民に事業参加を促し、スポーツ振興・健康づくりの推進に寄与する。 年1回 5月発行 1,000部

〔点検・評価〕

全国規模の各種スポーツ大会へ出場した場合に、表彰や奨励金を支給しており、そのことが、今後のスポーツ活動の糧となり励みとなっている。

6 女性対策係

(1) 女性対策

女性団体活動促進事業

蟹江町婦人会 活動事例発表

開催日 令和5年1月27日(金)

開催場所 弥富市総合社会教育センター

〔点検・評価〕

令和３年度から「女性教育指導者研修会」ではなく「地域コーディネーター等研修会」に変更となった。

地域における社会教育活動の有力な担い手である女性の社会教育団体に愛知県が事業を委託し、活動事例発表が開催された。これからも政策推進のプランの中で女性教育活動推進のため、民間の女性教育指導者に対し、資質向上を図る研修事業などへの参加を求めていく。

７ 施設係

(1) 生涯学習施設、設備及び備品の整備

① 生涯学習施設に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として利用制限等の措置を行った。

② 体育館分館浄化槽付帯設備改修工事、電気設備改修工事を実施した。

浄化槽付帯設備改修工事 550,000円

電気設備改修工事 352,000円

③ 町内の小・中学校の屋内（学校体育施設）に関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を取りながら、町民の健康増進及びスポーツ振興を図るために開放した。

④ 希望の丘備品購入 掃除機 32,208円

⑤ 体育館備品購入 卓球台（２台） 273,900円

⑥ 学校体育施設開放事業備品購入

バレー支柱 緩衝マット（２個） 99,660円

掃除機 15,180円

〔点検・評価〕

体育館分館については、浄化槽付帯設備改修工事及び、電気設備改修工事を行った。

生涯学習施設は全体的に老朽化が進んでおり、施設の改修が必要であるため、今後、施設計画に従って順次メンテナンスを行っていく必要がある。